

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

【講評】

45 問の出題でしたが、平均の正答数は 21 問でした。平均で 25 問ぐらいは正答していただきたいところです。国際政治史の基本的な事項に関する知識は 2 年次以降の学習でも必要になりますので、今一度、教科書を復習してみてください。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 1. 以下の選択肢の中から最も適切なものを一つ選んでください。

- ① フランシス・フクヤマは『歴史の終わり』において、イラクのフセイン政権の崩壊後、中東の政治は不安定化し、紛争の時代に突入すると警告した。
- ② サミュエル・ハンチントン『文明の衝突』において、世界を西欧文明圏、イスラム文明圏、ならびに中国文明圏に三分し、日本は中国文明圏に属するとした。
- ③ トマ・ピケティは『21 世紀の資本』において、先進国における貧富の格差が 1980 年代以降、拡大していることを指摘した。
- ④ 20 世紀初頭、工業生産力において、いまだ世界一位の座を保っていたイギリスは、ライバルであった、二位フランス、三位ドイツと熾烈な植民地獲得競争を繰り広げた。

問 2. 以下の選択肢の中から最も適切なものを一つ選んでください。

- ① 地球の人口の伸び率は、19 世紀初頭から 1950 年代までの期間が最も高く、それ以降は低下した。
- ② 米国の CO2 排出量は、1990 年には、世界全体の排出量の 20%以上を占めていたが、今日では中国のそれよりも少ない。
- ③ 人類史において最大の死傷者を出したのは第一次世界大戦であり、それはこの戦争で戦闘機による空爆が大規模に実施されたからである。
- ④ 現在、北アメリカ地域のイスラム人口は、欧州地域のその半分程度に過ぎず、南アメリカ地域のそれよりも少ない。

問 3. 以下の選択肢の中から最も適切なものを一つ選んでください。

- ① ドイツのプロテスタント勢力とカトリック勢力が対立したドイツ 30 年戦争の結果、ドイツの諸領邦の大半はプロテスタンティズムを国教とするに至った。
- ② 宗教的理由に基づく抵抗権論が広まっていた 16 世紀ヨーロッパにおいて、ジャン・カルヴァンは統治者への絶対服従を強調する主権論を唱えた。
- ③ 東アジアでは、19 世紀後半以降、中国を中心とする華夷秩序が西洋列強の進出によって崩壊していき、ベトナムはフランス、チベットはイギリス、朝鮮は日本の影響下に入った。
- ④ イスラム圏では、早くからスンニ派とシーア派の対立が生じたが、現在シーア派はイラン、イラク、ならびにエジプトで多数派である。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 4. 以下の選択肢の中から最も適切なものを一つ選んでください。

- ① 日清戦争の勝利によって台湾と朝鮮、日露戦争の勝利によって南樺太と南満州を手に入れた日本は、第一次大戦ではドイツの中国での租借地の領有を狙って参戦した。
- ② 第一次大戦の主要な参戦国のうち、戦死者数は、イギリス、ドイツ、アメリカ、フランスの順に多かった。
- ③ 第一次大戦後、ドイツはフランス、ポーランド、チェコスロバキアに領土を割譲させられたが、戦後に結ばれたロカルノ条約でそのことを受け入れ、戦後の安定が確保された。
- ④ 第一次大戦後に発足した国際連盟の常任理事国は、イギリス、フランス、日本、ならびにイタリアであった。

問 5. ①～④の選択肢の中から最も適切なものを選びなさい。

- ① 19 世紀以前に起こった戦争のうちで最も多くの犠牲者を出したのは、フランス革命期からナポレオン帝政期に生じた欧州での諸戦争である。
- ② 20 世紀前半と後半とでは、後半の方が戦争および大規模武力紛争に伴う犠牲者数が多い。
- ③ 第一次大戦後に創設された国際連盟は、戦争を国際法に反する行為と規定し、世界各地の戦争に対して武力介入を行った。
- ④ 第一次大戦後、長い間強勢を誇っていたオスマン・トルコ帝国が解体され、その結果、ギリシャやイランが独立を果たした。

問 6. ロシア革命に関する記述として最も適切なものを、以下の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① 1917 年 3 月にロシア帝政が倒された「二月革命」により、議会勢力を中心とする臨時政府と労働者・農民の代表措置き「労農兵士ソヴィエト」との二重権力状態になった。
- ② 1917 年 3 月の「三月革命」によりロシア帝政が倒され、ソヴィエト政府が権力を奪取した。
- ③ 革命が成功した要因は、専制的な政治体制に対する社会の不満、第一次世界大戦の長期化に伴う経済の疲弊、そして一次世界大戦からの離脱を目指す議会勢力の強い統一的な指導力にあった。
- ④ ソヴィエト政府は権力を奪取するとすぐに「平和への布告」を発し、連合国の政府から幅広い賛同と支援を得た。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 7. 第一次世界大戦の結果、4 つの帝国が滅びた。その組み合わせとして正しいものを以下の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① オーストリア・ハンガリー、ロシア、オスマン、アッシリア
- ② ドイツ、オーストリア・ハンガリー、ロシア、オスマン
- ③ ドイツ、ロシア、オスマン、中華
- ④ オーストリア・ハンガリー、ロシア、オスマン、中華

問 8. 第 1 次世界大戦後中の 1918 年 1 月に議会に対する教書の中で「14 カ条」として知られる包括的な講和の原則を提示した米大統領の名前を、以下の選択肢の中から選びなさい。

- ① リンカーン大統領
- ② ウィルソン大統領
- ③ ルーズベルト大統領
- ④ カーター大統領

問 9. 第一次世界大戦後に創設された国際連盟の特徴に関する最も適切な記述を以下の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① 国際連盟が創設され、国際社会は初めて戦争を違法と定めることで合意するとともに、それを保証する集団安全保障体制を立ち上げた。国際連盟規約では戦争行為とみなされる武力行使に対する即時の制裁措置を規定し、強い拘束力を有した。
- ② 1928 年に包括的に戦争の放棄を約束する条約が締結されたが、これに参加したドイツが後に条約を破る事となった。
- ③ 国際連盟規約では、人道的な労働条件の確保、婦人や児童の売買禁止、アヘンなどの有害薬物や武器および弾薬の取引の監視など、人道的・社会的・経済的な問題についての国際協力を取り決めた。
- ④ 設立当初の主要な参加国は、イギリス、フランス、アメリカ、イタリアの 4 か国である。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 10. 1921 年 11 月から翌年初めにかけてアジア・太平洋地域における国際問題を議論するためにワシントン会議が開催された。このときの合意によって形成された「ワシントン体制」について、最も適切でない記述を以下の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① 軍備制限に関する米、英、仏、伊、日の 5 大国会議と、東アジア・太平洋に関する 9 か国会議が開催され、3 つの条約が締結された。
- ② 5 大国による「海軍軍備制限条約」は、戦艦・航空母艦保有比率を米 10、英 10、日 6、仏 3.5、伊 3.5 とすることを取り決めた。
- ③ ワシントン会議はアメリカのハーディング大統領の提唱によって開催された。共和党のハーディング政権は強い「孤立主義」の性格を有し、ヨーロッパから自己を隔離させてアメリカ大陸における権益を確保することを目指した。
- ④ 「ワシントン体制」はアメリカ主導による列強間の利害の調整と勢力関係の確定にほかならなかった。

問 11. 次の囲み内にある A に該当する地域はどこか。以下の地図における、破線で囲んだ①から④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

ナチス支配下のドイツは、ヴェルサイユ条約によって失った（ A ）を奪回することを掲げていた。従って、ドイツが 1939 年 3 月にチェコスロバキアを解体・併合した後、次の標的として（ A ）を狙っていたのは明らかであった。イギリスの首相チェンバレンは、3 月 31 日に議会における答弁の中で、言葉を選びつつも、（ A ）が帰属する国の独立に対する全面的な支援を宣言した。この宣言は、ドイツに対する抑止効果となることを期待して出されたものであり、イギリスはあくまでも宥和政策の枠内での対応を試みていたことが分かる。4 月に入るとイギリスはさらに、同宣言に期待する対独抑止効果を高めるために、フランスとともに、ドイツを牽制する目的でソ連との連携を図るべく、イギリス・フランス・ソ連の三国間の政治・軍事協力に向けた交渉に着手した。ソ連がドイツとの戦争を想定して軍事協定を含む取り決めを求めたのに対して、あくまでもドイツとの戦争を回避することが目的であったイギリスは、ソ連との交渉継続の事実に対独抑止効果を期待したことから、交渉は遅々として進まなかった。業を煮やしたソ連は、ドイツ政府からの接触を受け入れ、8 月 23 日に独ソ不可侵条約が調印されるに至った。これを受けて、9 月 1 日、ドイツは（ A ）が帰属する国への侵攻を開始した。

②

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

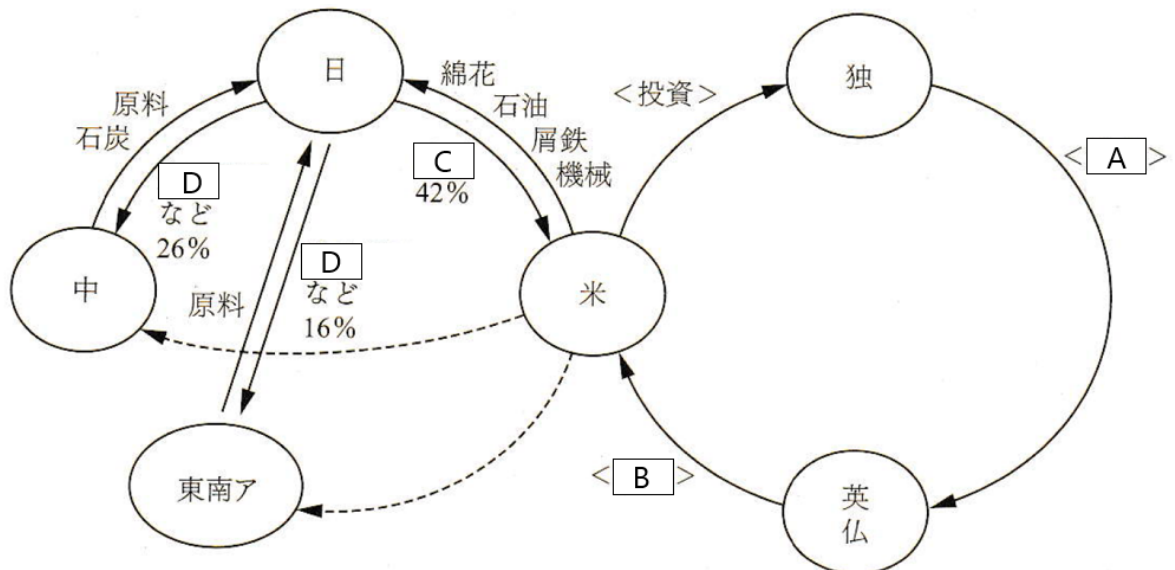
地図



* 破線部で囲んだ部分は、およそその地域を示している

問 12. 次の図は、チブラが「蝶つがい国家」と評したアメリカを中心とした、1920 年代の国際関係を示した図である。A から D に入る語句として最も適した組み合わせを、以下の①から④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

図 「蝶つがい国家」アメリカを中心とした、1920 年代の国際関係



2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

- ① A－戦債、B－投資、C－綿織糸、D－雑貨品
- ② A－借款、B－償還、C－生糸、 D－雑貨品
- ③ A－賠償、B－借款、C－綿織糸、D－繊維製品
- ④ A－賠償、B－戦債、C－生糸、 D－繊維製品

問 13. 次の囲み内にある A から D に該当する語句として最も適したの組み合わせを、以下の①から④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

宥和政策によって、イギリスが帝国を維持するために海軍を展開する際に用いる航路の安全を確保することが困難になった。例えば、イギリスは、(A) における帝国の危機に際して、海軍を派遣する航路として (B) を想定していた。しかし、(C) に対する宥和政策によって、(A) におけるイギリスの権益が侵害される一方で、(D) が (B) の要衝となる 2 つの海峡への影響力を拡大していったことから、(B) を通じた (A) への迅速な派兵という構想が揺らぐことになったのである。

- ① A－アフリカ、B－エンパイア・ルート、C－ドイツ、D－イタリア
- ② A－中東、 B－地中海ルート、 C－イタリア、D－ドイツ
- ③ A－アジア、 B－エンパイア・ルート、C－日本、D－イタリア
- ④ A－インド、 B－地中海ルート、 C－日本、D－ドイツ

問 14. 下記の中で、第二次大戦について最も間違っている選択肢を以下の①から④から 1 つ選びなさい。

- ① 第二次大戦は第一次大戦の再開とも解釈できる。
- ② 第二次大戦の終わらないうちから、冷戦は始まった。
- ③ 第二次大戦は、ソ連が最大の死者を出した国である。
- ④ 第二次大戦は、日独伊の同盟関係によって始まった。

問 15. 下記の中で、第二次大戦について最も関係のない選択肢を以下の①から④から 1 つ選びなさい。

- ① 盧溝橋事件
- ② ソ連のポーランド侵攻
- ③ いわゆる「第二戦線」問題
- ④ オスマン・トルコの崩壊

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 16. 下記の文章のうち 3 つは明らかな誤りを含んでいます。①～④のうち、明らかな誤りを含まない選択肢を 1 つ選びなさい。

- ① 第二次世界大戦終結の終結過程において、米・英・ソの三大国は、枢軸国に対して無条件方式をとることを決定した。当該枢軸国を直接軍事戦力した国が事実上排他的な実権をもって占領管理を行った「イタリア方式」が前例となっており、後の「勢力圏」形成の発想につながった。
- ② トルーマン、チャーチル、スターリンによるテヘラン会談で、ドイツ降伏後にソ連が対日参戦を行うことが取り決められ、戦後の協調について最後の誓約が交わされた。この段階では、ソ連の対日参戦が重視されるとともに、東欧におけるソ連の影響力拡大についても、三国間で暗黙の了解があったと言える。
- ③ 第二次世界大戦後の世界秩序を担う組織として創設された国際連合は、重要な原則として、「加盟国の主権平等の原則」「武力行使禁止の原則」「集団的自衛権の原則」を掲げた。また、国際連盟の失敗に対する反省から、国際の平和と安全の維持に関する主要責任を安全保障理事会に委ね、その常任理事国には議決での「拒否権」を与えた。
- ④ 第二次世界大戦後、アメリカは戦後の経済秩序形成にも強いイニシアチブを発揮し、国際通貨基金（IMF）、国際復興開発銀行（IBRD）が設立された。続いて創設された世界貿易機関（WTO）も一体となり、自由・無差別・多角主義に基づいた自由貿易体制を推進する制度が構築され、「ブレトン・ウッズ体制」と呼ばれた。

問 17. 国際連合の安全保障理事会を率いる常任理事国には、戦後構想を協議してきた大国が就任したが、当初検討された「4 大国」に、最後に加わった 5 番目の国はどこか。

①～④の選択肢から適切なものを 1 つ選びなさい。

- ① ドイツ
- ② フランス
- ③ 中国
- ④ インド

問 18. 「トルーマン・ドクトリン」についての説明として最も適切なものを次の①～④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① アメリカのフルトンにおいて発表され、全体主義の脅威が強調されている。
- ② トルコのギリシャへの経済的援助について言及されている。
- ③ ギリシャへの全体主義の脅威が中東全体に拡大することへの懸念が記されている。
- ④ 共産主義という言葉に比して全体主義という言葉は政治的に中立的に使われている。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 19. 「マーシャル・プラン」(アメリカのマーシャル国務長官の演説) についての説明として最も適切なものを次の①～④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① レトリックは厳しいものの、実際には対ソ連関係に大きな変化をもたらさなかった。
- ② ヨーロッパには食料その他の必要な物資を購入するための支払い能力がないとしている。
- ③ スペインやフランスで連立政権に参加していた共産党の排除という政治的影響をもたらした。
- ④ 表面的にはソ連や東欧諸国への支援を否定しているが、実際にはそうではなかった。

問 20. 第二次世界大戦後のソ連と東ヨーロッパ、および両者の関係についての説明として最も適切なものを次の①～④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① 東ヨーロッパ諸国の政治体制は、共産党一党独裁の外見をもった、しかしその実態は限定的な自由民主主義体制であった。
- ② ワルシャワ条約機構は、実質的に、東欧諸国のソ連に対する自律性を高めるための手段となった。
- ③ ソ連の模倣でない独自の社会主義建設を目指した国として、チェコスロバキアを挙げることができる。
- ④ ソ連の東欧支配は、安全保障に関してソ連（ロシア）がみせてきた伝統（周囲に対する異常なまでの警戒感など）から理解することもできる。

問 21. 第二次世界大戦後のアメリカの西ヨーロッパに対する関与の様態を「招かれた帝国」と特徴づけることがあるが、それに関連する記述として最も適切なものを次の①～④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① チャーチルの「鉄のカーテン」演説に、アメリカにおけるソ連脅威論を高める効果を読み取ることができる。
- ② マーシャル・プランの策定には、イギリスやフランスの外務大臣が深く関わり、アメリカの関与をほとんど許さなかった。
- ③ NATO の集団安全保障の導入を主導したのはアメリカであり、ヨーロッパの期待以上の大きな役割をヨーロッパの安全保障分野で果たすこととなった。
- ④ ヨーロッパの東西対立は、アメリカとソ連の代理戦争、すなわち「ヨーロッパにおける冷戦」をその中核的な特質とするものであった。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 22. ドイツの占領と東西分断に関する説明として最も適切なものを次の①～④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① 戦後のドイツは英米仏ソ四か国による分割統治下に置かれたが、ベルリンだけは国際連合の管理下に置かれた。
- ② 1949 年に成立するドイツ連邦共和国の前身は、一種の経済統合地帯であったと言っ
てよい。
- ③ 米英の占領区とソ連占領区とはいわゆる「ベルリンの壁」によって分断された。
- ④ フランスは実際には占領地域をもたなかったため、占領の実態は、英米ソの三国による分割統治にほかならない。

問 23. 下記の文章のうち 3 つは明らかな誤りを含んでいます。明らかな誤りを含んでいない選択肢を①～④から 1 つ選びなさい。

- ① 第二次世界大戦後、英仏などヨーロッパの帝国主義国は「冷戦の論理」も用いて帝国
の維持に努めた。アメリカは、英仏の時代錯誤的な植民地主義こそが被支配民族を共
産主義陣営に迫りやる要因とみなしたが、「植民地主義」の代替が「共産主義」しか
ない状況になると、「植民地主義」を支援した。
- ② 第二次大戦後、「共産主義の脅威」が高まるなか、アメリカと西欧諸国が中心となっ
て北大西洋条約機構（NATO）が設立され、西側の多角的軍事同盟が成立した。敗戦
国の西ドイツについては、再度の軍事大国化を恐れた西欧諸国が加盟に反対し、西ド
イツが NATO 加盟を果たしたのは EU 創設によって欧州統合が進展した後だった。
- ③ 東側では 48 年後半ごろから、ソ連による統合と支配が強まった。ソ連はマーシャル・
プランにもとづき、ソ連と東欧 5 カ国が加盟する経済相互援助会議を組織して、経済
的・政治的統制を強めた。1955 年にはソ連と東欧諸国が友好協力相互援助条約を調
印し、ワルシャワ条約機構を設立した。これによって社会主義計画経済の経済圏が統
合され、東側のブロック経済化が強固なものとなった。
- ④ 冷戦の激化に懸念を強めたアジアの新興国は、冷戦とは異なる国際政治秩序を模索し
た。ネルーと周恩来による「平和五原則」に基づき、1955 年、インドネシアのバン
ドンでアジア、アフリカ諸国が集結したアジア・アフリカ会議が開催され、「非同盟
政策」が提示された。日米安全保障条約を基軸として西側の一員を自認していた日本
は、この会議には参加しなかった。

問 24. 1951 年のサンフランシスコ講和会議は、日本が国際社会に復帰する契機となった。
この会議に参加したものの、講和条約に異議を唱えて条約には調印しなかった国を、
①～④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

- ① 大韓民国
- ② 朝鮮民主主義人民共和国
- ③ ソ連
- ④ 中華人民共和国

問 25. 第二次世界大戦後の脱植民地化に関連して、①～④の選択肢から、「かつての植民地宗主国－独立国－民族運動指導者」の組み合わせとして、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

- ① イスラエル － エジプト － ナセル
- ② オランダ － インドネシア － スカルノ
- ③ アメリカ － ベトナム － ホー・チミン
- ④ ソ連 － 朝鮮民主主義人民共和国 － 金日成

問 26. キブ（Kivu）とはどこにあるか以下の①～④の選択肢から 1 つ選びなさい。

- ① コンゴ民主共和国（旧ザイール）
- ② スーダン
- ③ ソマリア
- ④ ルワンダ

問 27. 民族浄化という概念は、次のうちどれに最も近いか、以下の①～④の選択肢から 1 つ選びなさい。

- ① ある民族が他の民族と結婚してはいけない。
- ② ある民族を他の民族が暴力と恐怖を与えることによって追い出す。
- ③ ある民族は地上に存在してはいけない。
- ④ 諸民族がそれぞれ連邦国家を形成する。

問 28. ルワンダの 1994 年のジェノサイドについて、以下の①～④の選択肢から最も正しい者を 1 つ選びなさい。

- ① これは何百年も前から続いてきた部族闘争が現代兵器を与えられて再開した結果である。
- ② これは民主化や難民帰国の問題と密接に関係している。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

- ③ ツチに対するフツの攻撃という、一方的なものである。
- ④ 国連にとりこれは晴天の霹靂であり、予見不可能であった。

問 29. 1915 年のフセイン・マクマホン協定について、正しくないものを①～④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① イギリスがアラブ側と結んだ秘密協定である。
- ② イギリスは大戦後のアラブの独立を約束する代わりにオスマン帝国への反乱をうながした。
- ③ このアラブの反乱を指導した人物は「アラビアのロレンス」として知られる。
- ④ イギリスがイタリアおよびドイツと結んだサイクス・ピコ協定と矛盾する内容だった。

問 30. イギリスが 1917 年のバルフォア宣言で約束したことを、①～④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① 英仏露によるオスマン帝国の領土分割
- ② 英仏独によるアフリカの分割と植民地化
- ③ パレスチナにおけるユダヤ人国家建設
- ④ ヨーロッパにおけるユダヤ人国家建設

問 31. 以下の (A)、(B) に入る最も適切な組合せを、①～④の中から 1 つ選びなさい。

1956 年から 1957 年にかけて勃発した第二次中東戦争は、(A) がイスラエルと共謀して (B) の軍事的再支配をもくろんだもので、パレスチナ問題をめぐって展開された他の 3 回の中東戦争とは性格を異にする。

- ① (A) アメリカ、フランス、(B) アスワン・ハイ・ダム
- ② (A) イギリス、フランス、(B) アスワン・ハイ・ダム
- ③ (A) アメリカ、イギリス、(B) スエズ運河
- ④ (A) フランス、イギリス、(B) スエズ運河

問 32. 湾岸戦争時のアメリカとイラクの大統領の組み合わせとして正しいものを、①～④の中から 1 つ選びなさい。

- ① ビル・クリントン；ヤセル・アラファト
- ② ジョージ・H・W・ブッシュ；ヤセル・アラファト

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

- ③ ジョージ・H・W・ブッシュ；サダム・フセイン
- ④ ビル・クリントン；サダム・フセイン

問 33. 以下の (A)、(B) に入る最も適切な組合せを、①～④の中から一つ選びなさい。

1991 年の湾岸戦争勃発においては、国連憲章が本来経済制裁と軍事制裁を区別するものであるにもかかわらず、国連安保理が 1990 年 11 月 29 日に採択した安保理決議 678 によって、経済制裁を規定する国連憲章第 7 章 (A) の履行を確保するための延長線上に事実上 (B) による武力行使を認めたことが大きな分水嶺となった。

- ① (A) 第 41 条、(B) 国連軍
- ② (A) 第 42 条、(B) 国連軍
- ③ (A) 第 41 条、(B) 多国籍軍
- ④ (A) 第 42 条、(B) 多国籍軍

問 34. 1990 年代から 2000 年代前半のアメリカの対外戦略についての説明として正しくないものを、次の①から④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① アフガニスタンに対する「報復作戦」を当初「限りなき正義作戦」と名付けたことから明らかなように、ブッシュ (Jr) 政権は、アメリカとその同盟勢力を「正義」とし、テロリストを「悪」とする二極化された世界観のもとで、「テロとの戦争」に乗り出した。
- ② ブッシュ (Jr) 政権は、アメリカの国益が脅かされているかどうかという観点から特定の国を「ならず者国家」とし、討伐の対象とした。このような形での「ならず者」概念の援用については、1990 年代半ば頃には既に、その基準や政策的対応に一貫性がないままに、多様な諸国家を十把一絡げに悪魔呼ばわりする、政治的選り好みと無節操の概念であるとの批判が示されていた。
- ③ 「『父ブッシュ』対『サダム・フセイン』」の様相を呈した湾岸戦争が 1992 年 2 月に終結した後も、イラクにおいてはサダム・フセイン政権が存続した。同政権が大量破壊兵器を保有しているとの疑いを強く持っていたブッシュ (Jr) 政権は、9. 11 事件の前から、イラクに対する軍事的選択肢を検討していた。
- ④ アメリカの国益にそぐわない国連の活動や国際協力の阻止も辞さないとする「単独主義」と結びつく形で展開されたブッシュ (Jr) 政権の「ならず者国家戦略」は、市場と「民主主義」を拡大するために各地に介入し、「デモクラシーの帝国」の構築を目指したクリントン政権期の「関与と拡大戦略」からの大きな転換を意味する。

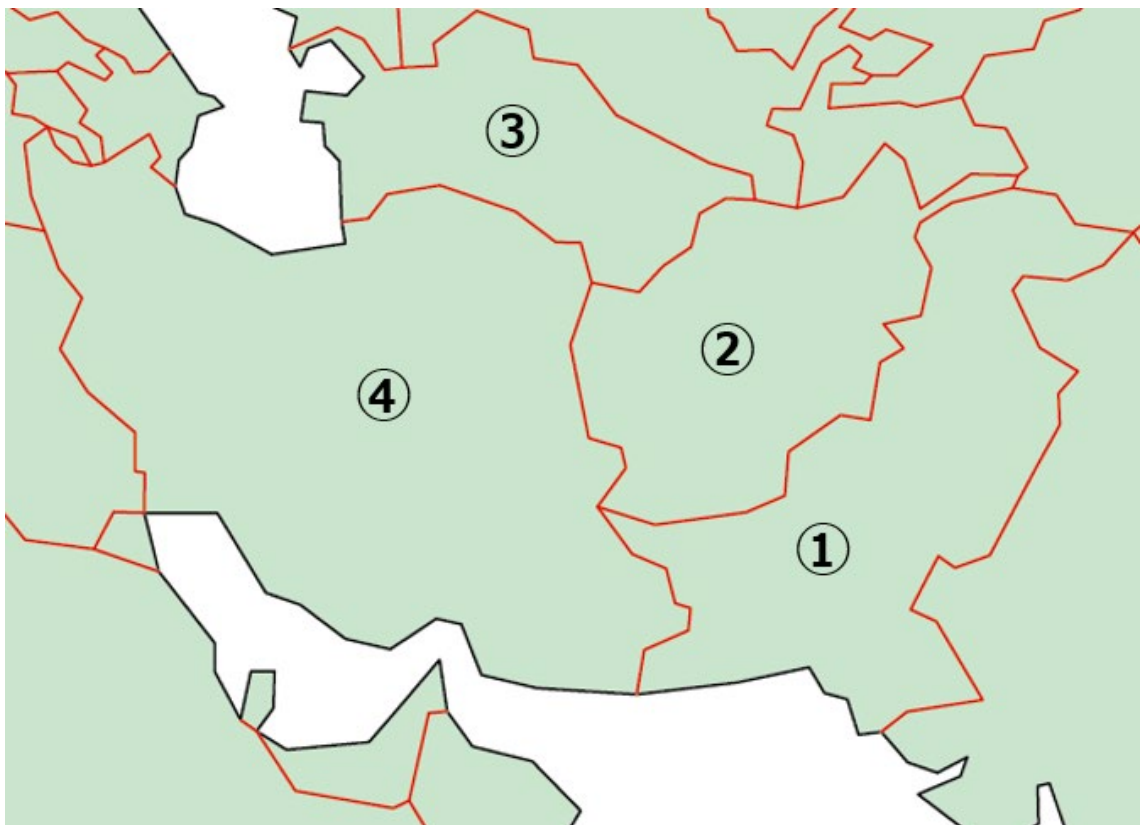
2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 35. 次の囲みは、A についての情報を示している。A に該当する国を、以下の地図における①から④の選択肢の中から 1 つ選びなさい。①

＜A についての情報＞

- 1979 年末からソ連がアフガニスタンを侵攻した際に、アメリカは、ソ連軍および社会主義政権に対抗するゲリラ勢力であるムジャヒディーンを支援するための根拠地として（ A ）を位置づけ、（ A ）に対して経済的・軍事的援助を供与した。
- 1979 年末からのソ連によるアフガニスタン侵攻により、多くのアフガン人が逃げ込んだ（ A ）には、多数の難民キャンプが形成された。これらの難民キャンプ周辺のモスクに併設された神学校「マドラサ」で学んだ、アフガニスタンの多数派民族であるパシュトゥン人の神学生を中心に結成されたイスラム原理主義組織が、タリバーンである。
- （ A ）の支援を受けたタリバーンは、1996 年 9 月にカブールを制圧し、政権を樹立した。サウジアラビアとアラブ首長国連邦とともに、（ A ）は 1997 年 5 月に同政権を承認した。
- 「不朽の自由」作戦を展開するに当たって、アメリカは外交面でも攻勢をかけ、アフガニスタンの近隣諸国からタリバーン政権に対して軍事的圧力を加える包囲網の形成を目論んだ。（ A ）もアメリカから対タリバーン包囲網に参加するように求められたため、2001 年 11 月にタリバーン政権との外交関係を断絶した。



2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 36. 以下の空欄（ A ）、（ B ）に入る語句の適切な組合せを、以下の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

核抑止はしばしば「恐怖の均衡」と呼ばれ、核兵器に対する相互の脆弱性の存在がその成立条件となる。この相互の脆弱性を維持する上で、相手の第二撃能力を無効化する

（ A ）の開発と配備は制限される必要があった。しかしながら、（ A ）を制限しても、（ B ）として知られる核ミサイルの多弾頭化とミサイル命中精度の向上は、相互の脆弱性の成立を困難にする恐れがあった。

- ① (A)ICBM (B) SLBM
- ② (A)ABM (B) MIRV
- ③ (A)SLBM (B) SDI
- ④ (A)ICBM (B) ABM

問 37. 以下の空欄（ A ）に当てはまる適切な語句を以下の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

第二次世界大戦後、冷戦の対立構造が深まるなか、社会主義世界ではソビエトの政治的威信が揺らぎ始めた。1956 年にはソビエトの支配に反対する民衆の抗議運動がソビエト軍により鎮圧される（ A ）が東欧で発生した。

- ① ベルリン危機
- ② プラハの春
- ③ ギリシャ危機
- ④ ハンガリー動乱

問 38. 1975 年に採択されたヘルシンキ宣言について、適切でない説明となっている記述を以下の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① 同宣言により東西の経済協力が発展し、ソビエト・東欧の社会主義諸国は西側との貿易への依存度を高めていった。
- ② 同宣言により信頼醸成措置の取り組みが発展し、軍事演習の事前通告やオブザーバーの相互派遣などの取り組みが東西両陣営間で行われるようになった。
- ③ 同宣言によりヨーロッパに配備されていた中距離核戦力の半減が行われた。
- ④ 同宣言により東西間の科学的交流に加え、人的交流も活発化した。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

問 39. ヨーロッパ統合に関する説明として適切なものを以下の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① イギリスは 1967 年に成立したヨーロッパ共同体（EC）の原加盟国であったが、2020 年にヨーロッパ連合（EU）から離脱した
- ② ヨーロッパの統合は、当初はドイツの復興を隣国に対する脅威を封じ込めながら進める枠組みとして始まった。
- ③ ヨーロッパ共同体（EC）では、1970 年代に人・物の移動が自由化され、1979 年には欧州単一市場が成立した。
- ④ マーストリヒト条約により経済統合がさらに進んだヨーロッパ連合（EU）では、段階的にすべての加盟国の通貨を廃止し、新通貨ユーロが EU 単一通貨となった。

問 40. 核兵器に関する説明として、最も適切でない説明となっている記述を以下の選択肢の中から 1 つ選びなさい。

- ① 新冷戦下におけるアメリカの戦域核を活用した限定核戦争論はヨーロッパ諸国を震撼させ、米ソの核軍縮を求める平和運動を刺激することになった。
- ② 1985 年に締結された INF 全廃条約は、ソビエトからロシアに継承され、米ロ間で中距離核兵器の開発・配備を制限する協力が続いている。
- ③ 核兵器の廃絶は、囚人のジレンマの 1 回限りのゲームで協力を求めるゲームであるため、ゲーム論の観点に立つと非現実的な構想である。
- ④ 核兵器が廃絶されると、相互抑止が働かなくなるため、対立する大国間で武力衝突が発生しやすくなることが危惧される。

問 41. 「軍事援助顧問団」の略称として適切なものを以下の①～④の選択肢の中から 1 つ選択しなさい。

- ① MAAB
- ② MAAG
- ③ MAEB
- ④ MAEG

問 42. 戦後日本の経済復興を軌道にのせ、高度経済成長が始まる契機のひとつとなった国際的な出来事として最も適切なものを、以下の①～④の選択肢の中から 1 つ選択しなさい。

2023 年度 試験問題

政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治史＋

- ① サンフランシスコ講和条約調印
- ② 朝鮮戦争
- ③ 東京オリンピック
- ④ ベトナム戦争

問 43. 占領兵の性暴力を考察するにあたり、英国の社会学者リズ・ケリーが提唱した概念は、有効な視点となりうる。その概念の名称として適切なものを以下の①～④の選択肢の中から 1 つ選択しなさい。

- ① デート・レイプ
- ② デート DV
- ③ 性暴力連続体
- ④ レズビアン連続体

問 44. 在日米軍の軍人軍属およびその家族が居住する目的で建築された「米軍住宅」は、戦後日本のライフスタイルに多大な影響を与えた。東京・原宿に展開した米軍住宅の名称として適切なものを、以下の①～④の選択肢の中から 1 つ選択しなさい。

- ① ジェファーソンハイツ
- ② ワシントン・ハイツ
- ③ グラント・ハイツ
- ④ パレス・ハイツ

問 45. 日本におけるテレビ放送の開始には、アメリカによる政治的な関与や指導があった。では、日本で初めてのテレビ本放送が開始したのは何年のことか、以下の①～④の選択肢の中から 1 つ選択しなさい。

- ① 1953 年
- ② 1958 年
- ③ 1963 年
- ④ 1968 年